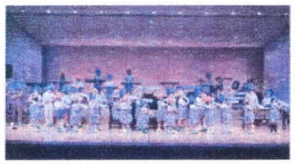
宇土市民会館大ホールは、天井にネットを張る工事のため４月～９月は使用できません。
会議棟は通常通り開館しています。よろしくお願いいたします。

宇土市民会館　イベントスケジュール（予定）

月	日	曜日	イベント名	場所	時間	主催	入場料
2	22	土	網田保育園　学習発表会　本番	大ホール	9：00開演	網田保育園（27-0316）	無料
	22	土	100円商店街お笑いショー	大会議室	12：30開演	宇土市商工会（22-5555）	有料
	24	月	岳野ダンススタジオ	大ホール	13：00開演	岳野ダンススタジオ（090-9475-1759）	無料
3	1	日	宇土市児童センター発表会	大会議室	10：00開演	宇土市児童センター（23-3303）	無料
	8	日	春の音楽の祭典	大ホール	13：30開演	宇土市民会館	有料
	15	日	宇土太鼓祭	大ホール	13：30開演	宇土市民会館	有料
	21	土	小西行長講演会	大会議室	14：00開演	文化課（23-0156）	無料･要予約
	29	日	OTONARI音楽教室　発表会	大ホール	16：00開演	OTONARI音楽教室（33-2183）	無料
4	3~5	金～日	鳳山堂　木の家具	大会議室	午前・午後	鳳山堂	展示即売
	11・12	土・日	オリジナル イン うと	大会議室	午前・午後	異業種交流会	展示即売

※2月5日現在の予定です。変更になる場合もあります。

大ホールにて３月29日（日）開催の「OTONARI 音楽教室」ご紹介



OTONARI 音楽教室は、知育・リトミック・ピアノ・ドラム・マリンバ・などを使って音楽の楽しさを知り、人を育てる教室です。各個人のピアノ演奏は４才～中学生まで。クラッシックから誰でも知っている曲などバリエーション豊かに演奏します。
後半最後は、環境保護活動家のグレタについての賛否から始まるオペレッタ（音楽劇）。内容も台詞もダンスの振り付けも全て小学生以上の子供達が考えたオリジナルです。
子供の本音。子供の本気覗いて見ませんか！（OTONARI 音楽教室　松井史美子）

「うと歌謡祭」今年は10月24日（土）予選・25日（日）決勝大会を行います！！

毎年宇土地蔵まつりの日に開催していましたが、今年は大ホールの天井工事のため、日にちを変更して開催します。
募集は８月後半から行う予定です。会館ホームページや広報うとにてお知らせします。ご参加お待ちいたしております。

2019「うと歌謡祭」アンケートより

●レベルの高い歌が聞けて、素人とは思えない程です。これからも楽しみに、又来たいと思います。ちなみに今回で６回目です。（女性・７０歳以上・宇土市）
●昨年見に来て、レベルの高い歌のうまい人が多く、音響も良く見応えがある。（女性・６０代・熊本市）

2019年の「うと歌謡祭」は歌謡祭最年少７歳の少女も出場、迫力ある声で民謡「おてもやん」を披露してくれました。
決勝には12名が進出し、「愛のカタチ」を歌った前田由紀子さんが優勝、ゲストは響あか絵さんでした。

NPO法人 宇土の文化を考える市民の会　宇土市民会館ホームページ http://www.utobunka.jp
事務局　〒869-0433　宇土市新小路町123　宇土市民会館内　TEL 0964-22-0188 FAX 0964-22-0189

■年会費納入のお願い　2019年度の年会費納入ありがとうございます。
未納の方は、郵便局で振込まれるか、市民会館窓口でお支払い下さい。よろしくお願いいたします。　＊火曜日休館

No.38　2020.2.15 発行

文化通信

NPO法人
宇土の文化を考える市民の会

日ごとに春めく候、明るい陽射しのなか、あちらこちらから小鳥たちの囀りが楽し気に聴こえてきます。
さてオリンピックまであと半年を切りました。先月から猛威を振るっている中国発の新型肺炎の一日も早い終息を願うとともに、そろそろ「東京五輪 -2020-」への楽しい盛り上がりを感じたいものです。
宇土市民会館の事業「春の音楽の祭典」・「太鼓祭」のなかでも“オリンピック”気分や“和の心”を感じて頂ければ、と思っています。
心が豊かになるひと時、感動のひと時をぜひご一緒にお過ごしいただきたく、当日精算券を同封いたしております。当日受付にて前売り料金にてご入場いただけます。（ただし、太鼓祭の“ペアチケット”は、前売り券のみで当日券も当日精算券もありません。おふたりで来場の方は前日までにペアチケットをお求めください。）ご来場をお待ちいたしております。

ゲスト決定!! 総会サロンコンサートのお知らせ

2020年５月23日（土）
【総会 13：15 ～　サロンコンサート 14：30 ～（予定）】

昨年１月、サロンコンサート初の落語会で、楽しい笑いの渦を巻き起こしてくれた落語家の桂伸三（しんざ）さんが“真打”に昇格予定！
名前を「桂伸衛門（かつら・しんえもん）」と改められ、再びサロンコンサートのゲストとしてご登場いただきます！ご期待ください！
（チラシは総会のご案内とともに４月に郵送する予定です。）

サロンコンサート　桂　伸三　真打昇進記念落語会

昨年一月に行いました「桂伸三　初笑い落語会」から一年四ケ月が経ちます。この折には古典落語三席をつとめ、寄席踊りも披露していただきました。
伸三さんは今年の五月、二つ目からめでたく真打ちに昇進されることになり、真打昇進襲名で新たに「桂 伸衛門」を名乗られる予定になっています。
ところで江戸落語での落語家は、見習い→前座→二つ目→真打ちという身分制度のようなものがあり、その序列は厳格です。前座まではいわば雑用係であり、一人前とはみなされず、二つ目からは紋付を着て高座に出られます。真打ちになって初めて師匠と呼ばれ、弟子をとることも許されるのです。
伸三さんは落語芸術協会に所属され、いま引っ張りだこの正統派落語家です。
前回の伸三さんの落語会に来られたお客様のご意見。
「落語の良さを生で見させていただき、改めてその芸の深さを知りました。素晴らしい落語でした。踊りも素晴らしいです。」「伸三さん、とても上手いですね。演じ分けがすごいと思います。大きな動作が入り、魅力的です。」「初笑い、福笑いの連続でした。落語の〝Live〟って面白いですね。」「言葉もはっきりしていて、聞きやすいです。本当に上手いです。大いに才能ありです。踊りも上手いです。」「食べるときの音、本当にそこにあるようで、つい生つばを飲み込んでしまいました。」などなど、伸三さんに、また来ていただきたいとの声も多く寄せられています。
厳密には六月に東京で予定されている「桂伸三改メ桂伸衛門真打昇進披露興行」からが正式な真打ちとなられるのですが、宇土市民会館ではそれに先がけて本年五月二三日のサロンコンサートで、真打ちとなられいっそう磨きのかかる「桂伸衛門」さんの落語を楽しみたいと思っています。多くの方々のご来場をお待ちいたします。

（高木恭二）

3月8日(日)　第4回 春の音楽の祭典
～ゲスト紹介～

「アンサンブル・フェリシア」のピアニスト山口友由実さん（ウイーン在住）は、ブラームス国際コンクール3位の実力者。以前、サロンコンサートでも素敵な演奏を聴かせてくれました。彼女の提案で、ピアノの下にもぐって音を聴く体験もあり、まるで流れ星のように降ってくる音に大人もを子どもも目をキラキラさせて聴いたことを思い出します。
また、宇土のストリートピアノ（船場蔵屋敷）お披露目式の時にも快くご協力いただき、空気が一変するような素晴らしい演奏と、優しくて爽やかな人柄に誰もが魅了されました。

東京・名古屋　公演チラシ

今回は、ウイーンで活躍されているお二人と一緒に、2枚目のCDアルバム「バロック」発売を機に来日、宇土公演の後、東京（3/16）・名古屋（3/11）・京都など日本各地でもコンサートを開催されます。
どうぞウイーンの春風を感じるようなコンサートをお楽しみにお越しください。

音楽の友　2017年6月号コンサート・レヴュー　3～4月の演奏会批評

アンサンブル・フェリシア
2014年に結成したウィーン発のアンサンブル・フェリシアによる日本初公演。メンバーは同地を拠点に活動している日野紗里（Ms）、前田明子（vn）、山口友由実（cemb）。彼女らのファーストアルバムを記念したコンサートで同CDの曲を中心に、ヘンデルのアリア集、ルクレール「ヴァイオリン・ソナタ第3番」、クープラン（恋のうぐいす）、モーツァルトの《ラウダーテ・ドミヌム》などが取り上げられた。結成の契機はウィーンの「ろうそくの館」でのサロンコンサートとのこと。気心の知れた者同士がつくり得る親しき友との音楽的な語らいや愉悦感がよく伝わる。また曲により独奏からトリオへと編成を自在に組みかえながら飽きさせない。正統な研鑽に裏付けされた様式美とともに、それぞれの紡ぐ調べはオーセンティックを基調としながら生き生きとした表情が華やぎを醸す。中でも三者による《ラウダーテ・ドミヌム》は慈愛に満ちていた。彼女らの典雅な慈遇いと、近江楽堂ならではの奏者との充実した一体感も感受した。（4月7日・近江楽堂）
（高山直也）

3月15日(日)　宇土太鼓祭 はじまり HAJIMARI

新元号「令和」をむかえ、7月～8月に東京オリンピックが開催される2020年。
8回目を迎える宇土太鼓祭のテーマは「はじまり」
宇土の宝物「雨乞い大太鼓」が持っている原初の音を感じていただける舞台をお届けします！
今回はゲストに、舞台芸術家の陽介氏と和太鼓奏者の坂本雅幸氏をお迎えします。お二人とも太鼓芸能集団鼓童から2017年に退団され、現在もソロ活動として世界各国を飛び回り活躍されるプロのアーティストです。
陽介氏は、大太鼓の演奏を専門とし、自らの限界を超えた爆発的なエネルギーと長年磨き続けた技術、精神力から強烈なインパクトを生み出す直感系パワーヒッター。
坂本雅幸氏は、鼓童の中心的な演奏者としてソロやセンターポジションを務め、そのしなやかで繊細な演奏スタイルは、アンサンブルの要であり、唯一無二のスタープレーヤー。
先人たちが継承してきた、雨乞い大太鼓を、天響・紬衣・宇土高校が紡ぎ出す音。
また、プロの奏者が響かせる音、その違いを味わっていただければ幸いです！

今年は世界中から日本へ、多くの人がやってきます。
日本が世界に誇る宝物「宇土の雨乞い大太鼓」太鼓そのものの価値はもちろんのこと、先人たちが継承してきた、人々の繋がりの中心に太鼓があるという、その文化こそが宝物なのではないでしょうか。
宇土という土地で「太鼓」というキーワードのもと、奇跡的に集まった若い仲間と、おもしろがってものづくりをする。
そのことこそが次の100年に繋がり、礎となる。未来へのはじまりの太鼓をご体感ください。

事業報告

サロンコンサート「初春の寿ぎ　東雲座ライブ -2020-」

1月12日のサロンコンサートには50名（新規会員含む）参加、新春にぴったりの邦楽やお座敷遊びを満喫しました。
女性からは「お座敷遊びって知らなかったけど面白いね！」「男の人たちはお座敷であんなことを楽しんでいたのね」などの声も。知らない世界を垣間見せてもらいました。

●良いお正月を迎えられた気持ちです。妻と楽しんでいます。お話しも、唄も、三味線も琴も気持ちよく、邦楽もとても楽しいです。第2部は体を動かし、舞台の上で荒神様に悩みを聞いて頂き、開運までして頂き、今年は沢山運が舞い込んで来ると思います。ありがとうございました。
（70代男性）

●新年らしく華やかでとても良かったです。もっとこの様な日本の文化を、楽しく気軽に聴ける機会あると良いですね。子どもや中高生、若い人たちにも「押し相撲」楽しむ機会経験して欲しい。大人なお遊び楽しいですね。（70代女性）

第4回 地域伝統芸能祭

地域に根付く伝統・伝承芸能を後世に保存・継承する祭典として第4回地域伝統芸能祭を開催しました。
出演は宇土雨乞い大太鼓保存会青年部・小倉虎舞・中鳩町獅子舞・新町獅子舞・宇土御獅子舞が芸能を披露しました。
今回は獅子舞・虎舞にフォーカスした内容で、異なった伝承の歴史を持つそれぞれの舞は、個性豊かで、アンケートでも満足度の高い内容となりました。
また終演後には全出演団体による意見交換会や、懇親会も開催され、後継者育成などについて課題を共有し、あらたな繋がりが生まれる交流の場となりました。
次年度以降も伝承・伝統芸能が持つ魅力を発信するとともに、廃れかけている芸能にも光を当て、保存会活動を継続・再開できるようなサポートもおこなっていきます。

小倉虎舞（阿蘇市）

中鳩町獅子舞（八代市）

新町獅子舞（熊本市）

宇土御獅子舞（宇土市）

獅子と交流（ロビーにて）

UTO JAZZ meet 10th

2月8日（土）大会議室にて開催。
約80名の参加者とともにセッションを行い、和気あいあいとジャズを堪能しました。
今年は佐藤允彦トリオは来られませんでしたが、トロンボーン、ベース、サックスなどの地元プレーヤーに加え、プロのジャズピアニスト奥村さんが駆けつけてジョイント、「枯葉」「A列車で行こう」などスタンダードジャズを演奏。
また参加者による歌で「スタンド・バイ・ミー」をジャズアレンジで即興。大いに盛り上がりました。